

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 世界史

教科：地理歴史 科目：世界史

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～ G組

使用教科書：（詳説世界史・山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「清明上河図」などの図像資料や荘緯『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引き起こした変化を多面的・多角的に考察し表現している。 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 10～12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等	○	○	○	13
第9章 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等	○	○	○	
定期考査			○	○		1

1 学 期	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等				
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。 科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しいさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 覇権争いの経過や「権力の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等				

第12章 産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の結合・変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等	○ ○ ○	1
第18章 冷戦・第三世界の台頭 【知識及び技能】 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 1960年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等	○ ○	25

2 学 期	第19章 冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等				
	問題演習 等	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等				21
3 学 期	問題演習 等	教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・小テスト・課題等 【思考・判断・表現】 定期考査・課題等 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み状況・課題の内容等				8
							合計 90